



永遠のダイアナ



(1961 - 1997)

元ウェールズ公妃(Former Princess of Wales)であったダイアナ(Diana)さんの本名は、ダイアナ・フランセス(Diana Frances)で、旧姓は スペンサー (Spencer)です。1961年7月1日にお生まれになり、1997年8月31日に、36歳の若さでお亡くなりになりました。

イギリスのスペンサー伯爵家の三女として生まれ、現在のイギリス国王チャールズ3世が即位される前の1981年に結婚され、ウェールズ公妃になりました。1996年に離婚された後、1997年にフランスのパリで交通事故により帰らぬ人となりました。

ダイアナさんがお亡くなりになられて早いもので、25年余が過ぎようとしています。改めて心よりの哀悼の意を表したいと思います。この度、存命中の彼女の偉大な功績の数々を思い出す縁(よすが)にしたいと思い、切手やカバー等をリーフ上に並べました。

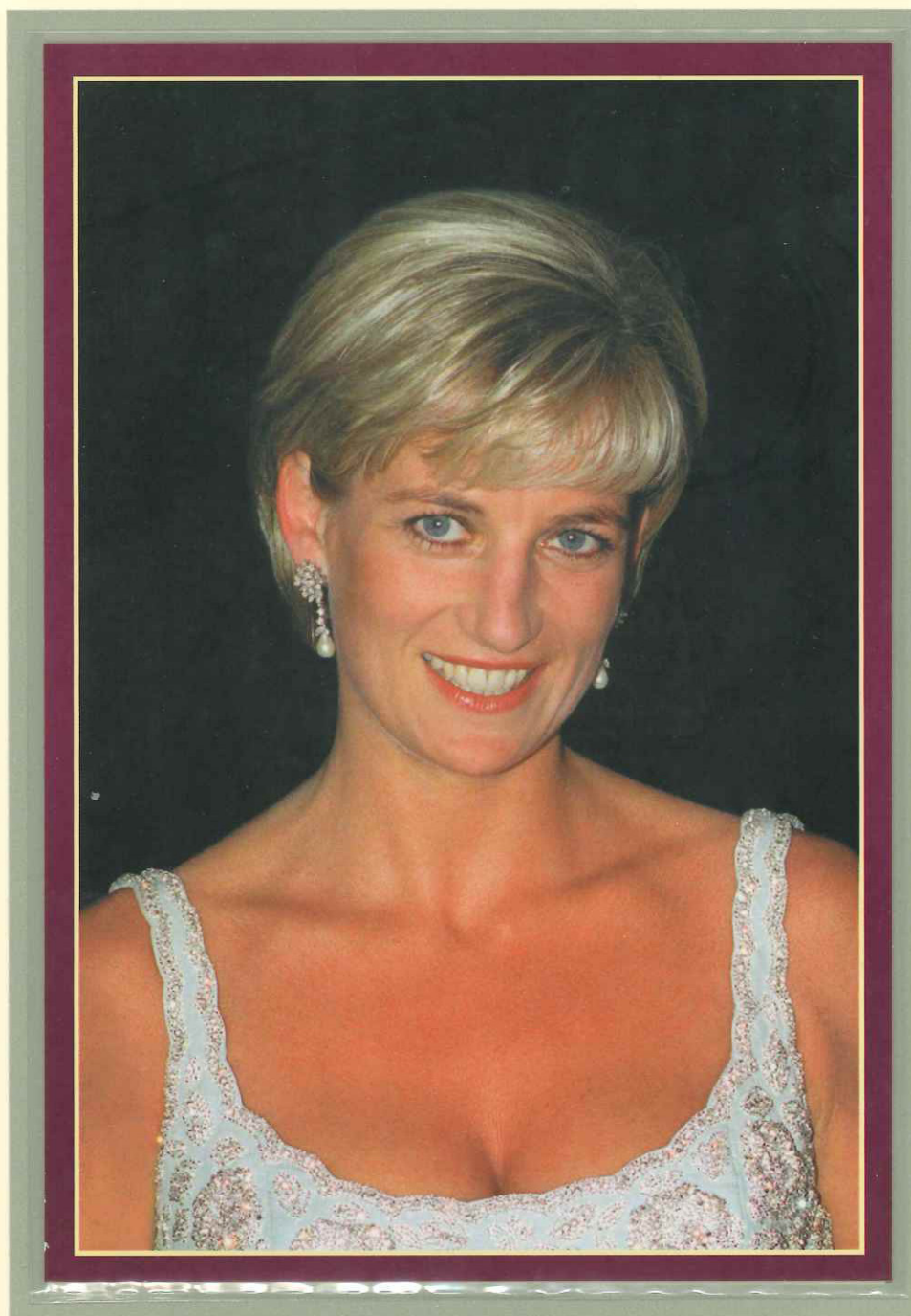


ダイアナ元ウェールズ公妃 36年の生涯 ポートレイト集



★★★★★★★★★★ 永遠のダイアナ ★★★★★★★★★★★★
(1961 - 1997)

ダイアナ元ウェールズ公妃



Aids Crisis Trust and The Ryal Marsden Hospital Cancer Fund
支援のための Christie's オークション会場にて
撮影: Tim Graham 氏 1997年6月2日
(絵はがき: Arthur Dixcon Limited)



★★★★★★★★★★ 永遠のダイアナ ★★★★★★★★★★★★
(1961 - 1997)

ウェールズ公妃であったダイアナさんの結婚前の本名は、「Diana Frances Spencer」です。ダイアナさんは、1961年7月1日イギリスのサンドリンハム領有地にあるノーホークで生まれました。先祖代々続くスペンサー伯爵の邸宅は、ノーサンプトンのオルソープにあります。この邸宅の中庭には湖があり、その小さな中島にお墓があります。



ガイアナ(1998) 金箔



グレナダ・グレナディーン諸島(1998) 金箔



グレナダ(1997) 金箔



★★★★★★★★★★ 永遠のダイアナ ★★★★★★★★★★★★
 (1961 - 1997)

ダイアナさんは豪華絢爛たる結婚式を挙げてウェールズ公妃となり、ふたりの王子に恵まれました。英国王室での生活を通じてダイアナさんは実に色々な人々に会うことができました。ダイアナさんの隠し立てのない明っぴろげの優れた天性によって“英国王室の星”と言われるようになったのです。



ガイアナ (1998)
 銀箔、ホログラム



グレナダ・グレナディーン諸島 (1998)
 銀箔、ホログラム



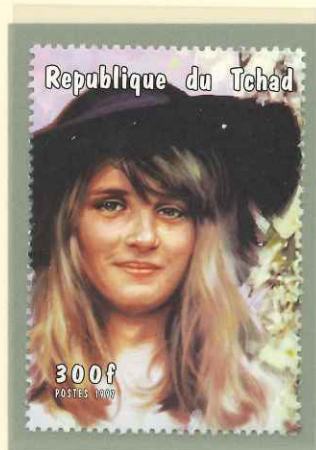
セントビンセント・グレナディーン諸島 (1998)
 銀箔、ホログラム



★★★★★★★★★★ 永遠のダイアナ ★★★★★★★★★★★★
 (1961 - 1997)

切手で見るダイアナさんの子供時代からウェールズ公妃になるまでの小史

チャド 1997年11月19日発行 (3シート27種から12枚抜粋)



子供から少女の頃



青春時代



ウェールズ公妃になる頃



★★★★★★★★★★ 永遠のダイアナ ★★★★★★★★★★★★
 (1961 - 1997)

ダイアナ元ウェールズ公妃が描かれた切手(4か国からの事例)



ジブラルタル 2007.3.31 (同時発行 4種)



キリバス 2007.10.30 (同時発行 6種)



トリスタンダクーニャ島 2007.11.30 (同時発行 6種)



パラオ 2007.6.20 (同時発行 4種)



★★★★★★★★★★ 永遠のダイアナ ★★★★★★★★★★★★
(1961 - 1997)

ダイアナ元ウェールズ公妃の10年忌に際し、ドミニカ国、パラオ、ベキア島、ガンビア、およびパプアニューギニアの5カ国等から発行された切手の小型シートを掲げ所にし、改めて追悼致します。



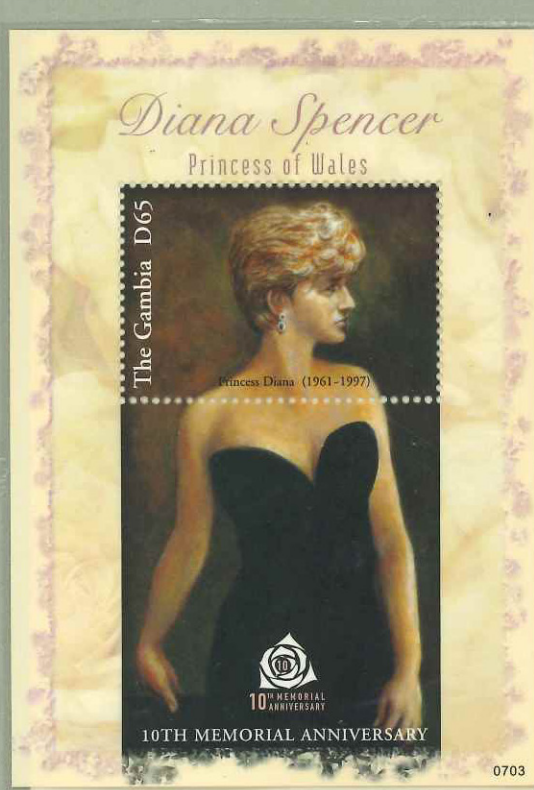
ドミニカ国 2007年6月11日 10年忌記念



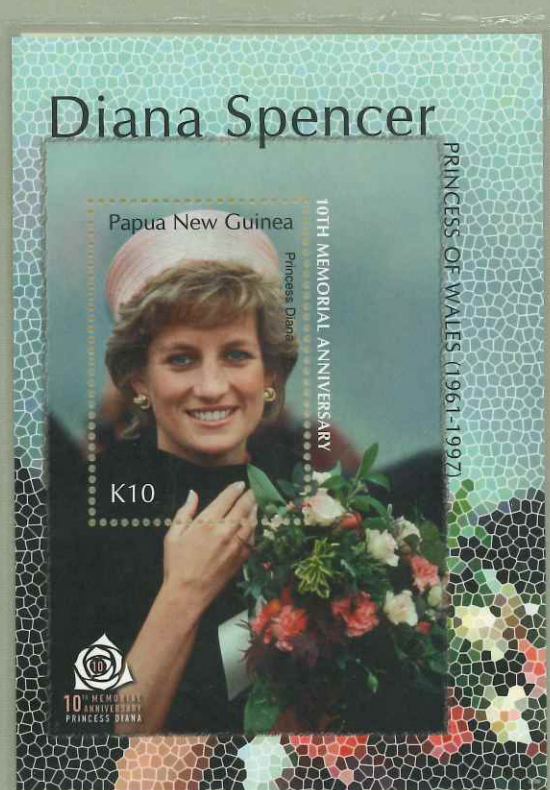
パラオ 2007年6月20日 10年忌記念



ベキア島 2007年 10年忌記念



ガンビア 2007年5月1日 10年忌記念



パプアニューギニア 2007年10月31日 10年忌記念





永遠のダイアナ
(1961 - 1997)



ダイアナ妃を描く切手帳

ダイアナ元ウェールズ公妃



絵はがき
ダイアナ元ウェールズ公妃
(印刷:イギリス)

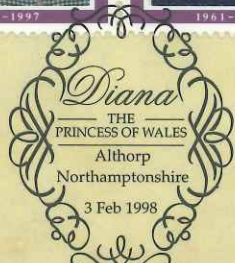
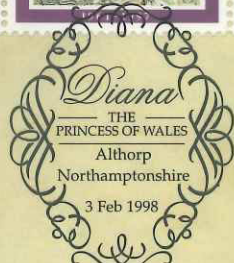
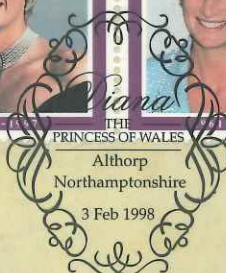
← 切手帳 発行:ソロモン群島 1998年3月31日
ダイアナ元ウェールズ公妃
額面 \$ 2.00 ストリップ(5枚) 2列



★★★★★★★★★★ 永遠のダイアナ ★★★★★★★★★★★★
(1961 - 1997)

1998年2月3日、イギリスで発行されたダイアナ元ウェールズ公妃の切手5種が貼付された初日カバーです。カバーの表面には、マーガレット王女の元夫である Snowdon伯爵 (Antony Armstrong-Jones) のサインがあります。裏面には、カバー作成の Benham社による証明が配されています。彼は王室事情に詳しく、ダイアナさんの写真も多く撮っている著名な写真家で、このカバーのカシエに使われている写真の撮影者でもあります。

「人民のプリンセス」と慕われたダイアナさんは小型印に記された Northamptonshire 州 オルソープ (Althorp) にあるスペンサー家領地内で永遠の眠りについています。



Snowdon
Lord Snowdon

Benham
Folkestone, Kent

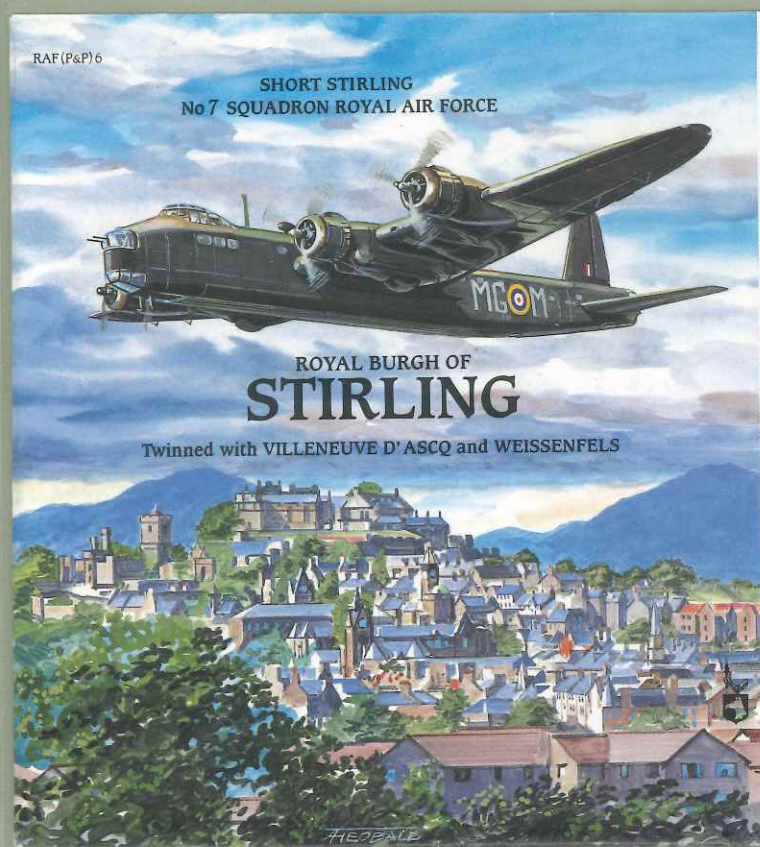
記念カバー イギリス 1998年2月3日発行 ダイアナ妃切手(26p) 5種
切手図柄の説明(左から右へ)

ウェールズ公妃のダイアナ、1997年4月 英国肺基金設立式典、1991年 ティアラ装着、
1995年10月 バーミンガム訪問、1987年 イブニングドレスを着用



★★★★★★★★★★ 永遠のダイアナ ★★★★★★★★★★★★
(1961 - 1997)

この初日カバーは、ダイアナ妃追悼と、Sussexdown の Royal Air Forces Association Home 再建資金調達のために王立空軍により発行されました。1998年2月3日、スコットランド南部の Stirling で押印された後、2月25日に、イングランド南部にある Odiham で爆撃機・No.7 Squadron に搭載され、スターリング城の上空を通過して、Edinburg および Kiniloss に着陸しました(裏面記載)。この飛行は、J.P.Guy機長他3名で、8時間50分間の飛行でした。スターリングは、スコットランドの重要拠点としてイングランド軍と2度にわたり戦い、勝利した地として有名です。なお、裏面にはグループ・キャプテン、W.S.O.Randle による証明のサインが記されています。ちなみに、このカバーは、製作番号が128/200です。



Shorts



RAFA Sussexdown
Storrington, Sussex

記念カバー イギリス 1998年2月3日発行 ダイアナ妃切手(26p) 5種

切手図柄の説明(左から右へ、そして下段)

ウェールズ公妃のダイアナ、1997年4月 英国肺基金設立式典、1991年 ティアラ装着、
1995年10月 バーミンガム訪問、1987年 イブニングドレスを着用



★★★★★★★★★★ 永遠のダイアナ ★★★★★★★★★★★★
(1961 - 1997)

この初日カバーは、1998年2月3日、イギリスで発行されたダイアナ元ウエールズ公妃の切手5種が貼付されたダイアナ妃追悼記念カバーです。ロンドンに住む友人が、私のために郵送してくれました。カシエに使われた写真は、Tim Graham氏の撮影です。



1961-1997



KENSINGTON LONDON
DIANA,
PRINCESS
OF
WALES
3 FEBRUARY 1998

KENSINGTON LONDON
DIANA,
PRINCESS
OF
WALES
3 FEBRUARY 1998

KENSINGTON LONDON
DIANA,
PRINCESS
OF
WALES
3 FEBRUARY 1998

Dr. K. Takahawa,
ORI, Oshio, Tokyo,

15-1, Minamidai-1, Nakano,
Tokyo 1648639,
JAPAN



イギリス 1998年2月3日発行 ダイアナ元ウエールズ公妃追悼記念切手(26p) 5種
切手図柄の写真撮影者(左から右へ)

Snowdon (Camera Press), Tim Graham, Snowdon, Tim Graham, Terence (Camera Press)



★★★★★★★★★★ 永遠のダイアナ ★★★★★★★★★★★★
 (1961 - 1997)

この記念カバーは、故ダイアナ元ウェールズ公妃の40歳を慶賀するために作られました。使用された台紙は、1998年2月3日にイギリスで発行されたダイアナ妃の切手5種が貼付された初日カバーで、記念印にオルソープ邸が象られていて、カシエは若い頃のダイアナさんの写真で、「人民のプリンセス」の文字が記されています。彼女の誕生日(2001年7月1日)に Northampton(イギリス)で、バラの花(ダイアナ・プリンセス・オブ・ウェールズ)が描かれた記念印が重ねて押されました。

彼女の印象的な美しさに加えて、暖かく思いやり深い人格と強い同情を伝える才能等により、彼女は世界中に多くの知友を作りました。世界の主な指導者や故マザーテレサさんをはじめ赤貧の人から末期患者に至るまで、多くの人々がこの優しく聡明なダイアナさんを敬慕していたのです。

Diana



The People's Princess



記念カバー イギリス 1998年2月3日発行 ダイアナ妃切手(26p) 5種

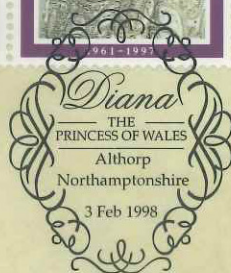
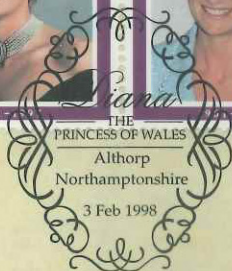
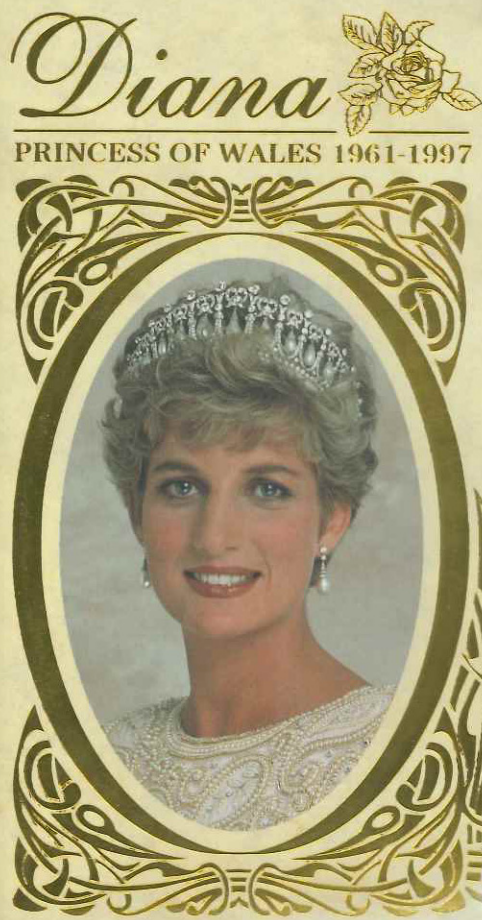
切手図柄の説明(左から右へ、そして下段)

ウェールズ公妃のダイアナさん、1997年4月 英国肺基金設立式典、1991年 ティアラ装着、
 1995年10月 バーミンガム訪問、1987年 イブニングドレスを着用



★★★★★★★★★★ 永遠のダイアナ ★★★★★★★★★★★★
 (1961 - 1997)

この初日カバーは、1998年2月3日、イギリスで発行されたダイアナ元ウェールズ公妃切手5種が貼付されています。このカバーのカシェに使われた写真は、Camera Press の Snowdon伯爵の撮影です。また、ダイアナ妃のイブニングドレスやウェディングドレス制作等で著名なファッション・デザイナーの Elizabeth Emanuel さんのサインが記されています。中央には、ボスニア・ヘルツェゴビナの 5MARKAコインが詰め込まれています。



Elizabeth Emanuel

Elizabeth Emanuel

Benham
Folkestone, Kent

初日カバー イギリス 1998年2月3日発行 ダイアナ妃切手(26p) 5種

切手図柄の説明(左から右へ)

ウェールズ公妃のダイアナ、1997年4月 英国肺基金設立式典、1991年 ティアラ装着、

1995年10月 バーミンガム訪問、1987年 イブニングドレスを着用



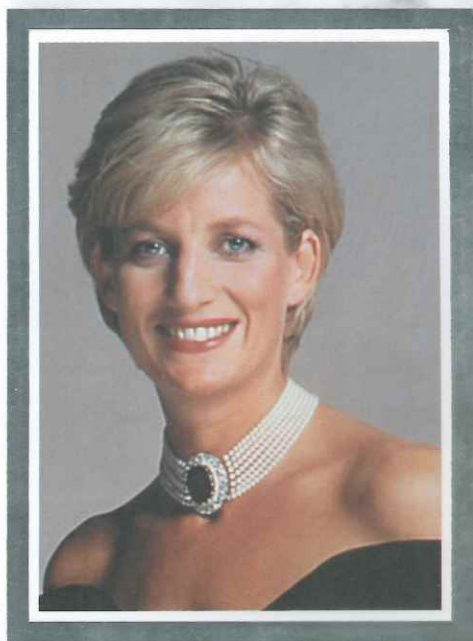
★★★★★★★★★★ 永遠のダイアナ ★★★★★★★★★★★★
(1961 - 1997)

このカバーは、1999年1月1日、ダイアナ元ウエールズ公妃の肖像を刻んだ5ポンド・コイン(イギリス)の発行を記念しています。カバーの中央に、5ポンド・コインが埋め込まれていて、このコインの裏側には、女王エリザベス二世(エリザベス・アレクサンドラ・メアリー: Elizabeth Alexandra Mary)の肖像が刻まれています。

このカバーには、1998年の長野冬季オリンピックの時に、オリンピックトーチを持って箱根-東京間を走破した義足のウルトラ・マラソン・ランナーである Chris Moon MBE さんのサインがあります。カシェには、Snowdon 伯爵が撮影した写真が使われています。

1961 · THE PEOPLE'S PRINCESS · 1997

Diana



PRINCESS OF WALES



Chris Moon
Chris Moon MBE



C31

Beitham
Folkestone, Kent

記念カバー イギリス 1998年2月3日発行 ダイアナ妃切手(26p) 5種

切手図柄の説明(上段と下段とも左から右へ)

ウエールズ公妃のダイアナ、1997年4月 英国肺基金設立式典、1991年 ティアラ装着、
1995年10月 バーミンガム訪問、1987年 イブニングドレスを着用



